

# わんぱく学園ニュース

平成21年 11～12月号 No144

小春日和の続く頃、固い緑色の葉の間に黄色い大きな芯をつけた白い円やかな花…そう…茶の花が咲く頃…。その白い蕾(つぼみ)は、何とも初々しく懐かしさを感じる――。

「茶の花の、白さに想う、母恋し」 ~垣

渡部様は、県職員として企業局などでご活躍なされた後、島根県の高齢者社会への対策に力を注ぎ、斬新な切り口で、地域社会への対策を展開していらっしゃる方です。

## 心動かされるもの

島根県社会福祉協議会 常務理事 渡部 幸義

松井がやりました!!

私の長男が、ニューヨーク・ヤンキースの松井選手と同じ年頃でちょっと似たところもあり、彼もわが子のように思えてしまいます。狭い私の部屋に貼ってある2枚の大きなポスターの中には、ピンストライプの彼が毎日います。

その松井が、米大リーグ入りして7年目、ニューヨーク・ヤンキースをメジャーリーグチャンピオンに導き、MVPに輝いたのです。ワールドシリーズ制覇を決めた第6戦のニュースを何度も何度も繰り返し見ながら涙を止めることができませんでした。年をとり涙もろくなったせいもありますが、左手首の骨折、ひざの痛みなど立ちはだかる壁に決して弱音を吐かず克服していった姿、人間松井が心に迫ってきたからでしょう。

松井もそうでしたが、私にとってこの秋は、心動かされるものに数多く出会えたときでした。

島根ライトハウス創立50周年記念の講演で佐野史郎(俳優)さんが話された「シンプルに生きていることが喜びに感じられる世の中を」という意味のこと。今人々はあまりにも多くのことを追い求めすぎているのではという反省からの言葉だと思いました。

記念のコンサートもあり、以前ひらたCATV“わがとこテレビ”でも放映していた平田出身の堀内友貴さん(バリトン)と松江市出身

の経種廉彦さん(テノール)のステージも暖かいものでした。最後に二人手を携えて登場し歌われた「ふるさと」は、多くの人の涙を誘い、堀内さんの誠実さと明るさ、経種さんのさりげないあたりまえの心配りが今でも深く印象に残っています。

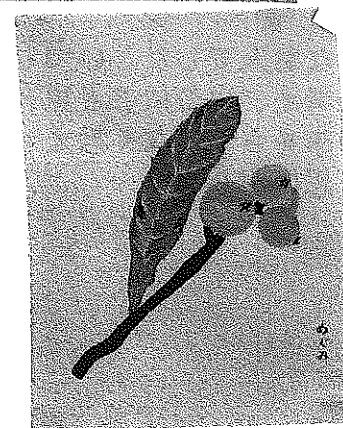
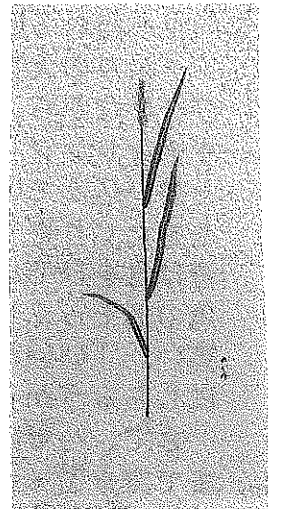
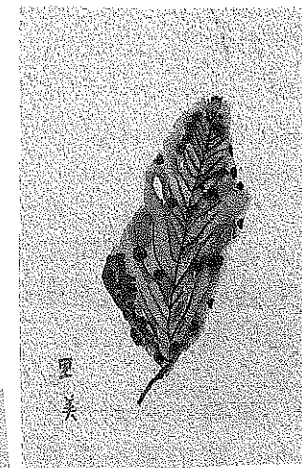
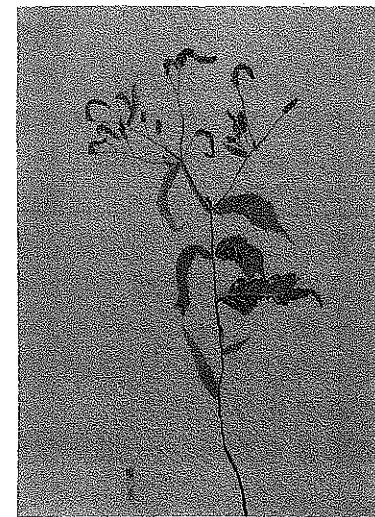
新潟での全国民生委員児童委員大会では、「千の風になって」を創った新井満さんの講演でした。「あなたが生まれてこなければならなかった意味と理由は何か、それは“役割”をはたすためなのだ、あなたでなければはたせないあなただけの“役割”をはたすために…」

松江で開かれた重症心身障害児者を守る会の中国地区大会では、親さんたちが積極的にあるいは遠慮しながら発言され、その姿とお聞きした日常の暮らしに強さを超え崇高さをも覚えました。

県立美術館であった島根県障害者アート作品展は、NPOサポートセンター“どりーむ”からも力強い応援があり、たくさん出品していただきました。すばらしい作品の前にしばし佇んでいました。

“どりーむ”の新しい企画がうまく進みますよう祈っています。

私は県の社会福祉協議会へ参り2年半が過ぎましたが、このように色々なところへ出掛けては「社協に何ができるのか、社協は何をすべきなのか」目線を平らにするようにして模索する毎日です。



～アートプロジェクト  
出展の中から～  
sc-dream.net

思い出のひとこま(H16年11月)  
今から6年前わんぱく学園ニュースより

ハゼ釣り・宍道湖周辺ピッカピカ！

台風の為予定より一週間日延べした17日、私たち24名は、市立文化館前バスターミナルから生活バス（廃食油バス～家庭廃食油を回収し、収集車や生活バス等の燃料として使用）に乗り、宍道湖へハゼ釣りに出掛けました。この日は山陰中央新報社の方の取材もあり、釣りをする前にまず宍道湖を背景に記念写真撮影。それぞれがいつもになく、おすまし顔してばかり！。

当日はちょっぴり波があり湖遊館近くでいよいよハゼ釣り大会開始。

「ハゼは、底らへんに おーらしいよ」

「浮きじゃなく 重りで決めた方が…」

釣り名人の飯塚真澄顧問のあの笑顔や穏やか声がなく、何となく皆の心は語らなくとも淋しそう…。

しかし、糸を張ってあたりを今か今かと待っている子らの表情は真剣そのもの。そのうち手ごたえがあり、たぐり寄せてみれば、かわいいハゼばかり…。そんな中、突然ひときわ大きな声。振り向けばあのパワー溢れる原幸枝教諭の得意満々の笑みで「ホーラ！！」。10数センチ余りの大物？（この日は一番の大物）。「よかったね」と共に喜び合いながら、子どもやお父さんお母さん達は、自分のペースを崩さずチャレンジしていました。が、誰かさんは「さぁ～て今度こそ！」と勢い込んでいたその矢先、「あっ!!これは手ごわいぞ～」と懸命に糸をたぐり寄せながら「ホーラ、見ててご覧！」とあの得意の自慢が。皆は息をひそめ、じっ～と私の糸の先を見れば……何と驚くなかれ、魚の形そっくりなヘドロのごみが。「なぁ～だ、ごみじゃ～ん」と大笑い。「いいわよ いいわよ、ごみ釣ってこのひろ～い宍道湖きれいにしちゃうから…」と心の中で叫んだのであります。

さて、ハゼ釣り大会の後は宍道湖沿いに歩きながら、一畑電鉄園駅まで空き缶・ごみ拾いもしました。

☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆

飯塚真澄先生、本当に心あたたかなお人でした。いつも多くを語らず、しかし皆の事を真剣に考え、にこにこと見守って下さっていましたね。たくさんのお事をさりげなく教えて下さいました。宍道湖を見るたびに思い出します… (記 土江和)

～タペストリー  
ふたたび～

今から四年前の平成17年8月2日～7日までの一週間、わんぱく学園は島根県立美術館に於いて『純粹芸術と子ども達、アートは遊び心』というテーマで美術展を開催した思い出があります。その際地元の国富小学校6年生の児童の皆さんや、松江にある福祉法人四ツ葉園の園生の方々のご協力を得、縦3メートル横15メートルのタペストリーも展示致しました。その思い出のタペストリーが、先日11月5日～9日の間に行われました島根県社会福祉協議会主催の島根県障害者アート作品展に特別に出品させていただきました。

あの時の感動が鮮明によみがえりました。

11月・12月の「わんぱく学園」のメニューは下記の通りです。

11月 1日 8日 15日	お休みしました (新型インフルエンザ流行の為)
22日	画家に 変し～ん!! (担当 槇野 麟) ・場所 ギャラリー「ミチル」 ・材料費 200円 ♪ミチル喫茶お楽しみに
29日	粘土であ・そ・ぼ! (担当 安食ひろ・土江 継) ・場所 アトリエ「おちらと」 ・材料費 200円
12月 6日	ケーキづくり (担当 平井 好・土江 継) ・場所 アトリエ「おちらと」 ・材料費 300円
13日	温泉でのんびり (担当 福田 穂・土江 継) ・行き先は楽しみにね ・入場料200円(不足は学園で補助)
19日 (土) 招待券あり	ゆめのつばきコンサートに行かない? (担当 山口 恵子) ・開場 午後5時 ・開演 午後5時半 ・集合時間 午後4時 ・集合場所 文化館前駐車場
27日	Xmasパーティー (担当 安食ひろ・土江 継) ・場所 アトリエ「おちらと」 ・100円相当のプレゼント準備してね (プレゼント交換しようね)

★鯨時間9時30分 鯨場所 文化館駐車場又は直接行ってもいいですよ  
★学園問い合わせ先 ;土江《麟 090-7774-5913》 [文責 土江 和世]